

麻布大学ティーチング・ポートフォリオ

所属 獣医学科

職階 教授

氏名 山下匡

麻布大学では、教育研究活動その他大学の諸活動を恒常的に自己点検・評価し、その結果を検証して改善に結び付けることにより、教育の質保証を行う観点から、各教員が『ティーチング・ポートフォリオ』を作成しています。ティーチング・ポートフォリオの構成及び更新サイクルは以下のとおりです。

1. 教育の責任・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
2. 教育の理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
3. 教育の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
4. 教育の方法の改善・向上を図る取組・・・・・・・・・・ 毎年
5. 学生の授業評価アンケート結果に基づく改善・向上の取組・・・ 毎年
6. 学生の学修成果向上を図る取組・・・・・・・・・・ 毎年
7. 指導力向上のための取組・・・・・・・・・・ 3年
8. 今後の目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年

1. 教育の責任

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2024年4月

授業、実習内とその予復習を通して理解を深めてもらうことを最大の目標とし、国家試験に合格しうる知識を提供することが責務である。疑問点等はなるその時に解決するように促す。また、一定の理解度に達しているかを試験等で確認する。

科目名	学科・専攻	単位種別	配当年次	受講者数(単位:人)
獣医学特論II	獣医学科	必	5	0
獣医学特論I	獣医学科	必	4	3
卒業論文	獣医学科	必	6	0
獣医生化学II	獣医学科	必	2	162
獣医生化学I	獣医学科	必	1	156
獣医生化学実習	獣医学科	必	2	162

2. 教育の理念

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年4月

建学の精神を尊重し、ものの見方や考え方の基礎を身に付けることに重点を置いた教育を行うことによって、自己の哲学（倫理観・人生観・世界観・真理の探究）を備え持って、世のため人のために尽くすことのできる人材の育成に力を注ぐことを理念とする。

3. 教育の方法

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年4月

建学の精神を尊重し、ものの見方や考え方の基礎を身に付けることに重点を置いた教育を行うことによって、自己の哲学（倫理観・人生観・世界観・真理の探究）を備え持って、世のため人のために尽くすことのできる人材の育成に力を注ぐことを理念とする。

(1) アクティブ・ラーニングについての取組

無

事前予習、復習の奨励と授業の最後に質問タイムを設定する。また、授業終了後にもなるべく学生からの疑問にはその場で対応する。

(2) ICTの教育活用

有

講義1週間前までにpdfファイルの配布、課題の設定と提出。

4. 教育の方法の改善・向上を図る取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2026年4月

(1) 教育（授業及び実習等）の創意工夫

A

1週間前までの教材配布と予習を課す。

(2) 学生の理解度の把握

B

課題を設定し、理解度を把握する。

(3) 学生の自学自習を促す工夫

A

特に要点を強調した講義をする。実習ではビデオの作成とそれを用いた事前学習を行う。

(4) 学生とのコミュニケーション

A

授業の最後に一定時間を質問とその回答時間に当てる。

(5) 双方向授業への工夫

B

授業の最後に一定時間を質問とその回答時間に当てる。

(6) 国家試験対策の取組（獣医学科・臨床検査技術学科）

B

該当なし

5. 学生の授業評価アンケート結果に基づく改善・向上の取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2026年4月

(1) 授業評価アンケート結果の授業への反映

指摘事項を次年度の講義に生かした。

(2) (1)の結果による改善・向上の具体的な成果又は課題

指摘が少なくなった。

(3) (2)を踏まえた次年度の取組

現状維持する。

6. 学生の学修成果向上を図る取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2026年4月

(1) 現在までの学生の成績向上に資する取組及びその成果並びに今後予定している取組

授業時間中に重要な箇所とそうでない箇所を明確に提示する。

(2) (1)の取組を通じて改善・向上が図られた学生の学修成果並びに当該取組 に対して得られた学生及び第三者からの評価又はフィードバック

なし

7. 指導力向上のための取組（FD研修参加等）

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2026年4月

ウェブ上で視聴し、参考にした。

8. 今後の目標

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年4月

本当の教養（知識の多さだけでなく、物事を俯瞰して観る力、深く考える力、物事を様々な面から捉えられる豊かな心、他者の立場を理解して行動する思いやりの心を備えた教養）を身に付けた国際人の育成。

9. ティーチング・ポートフォリオを作成する際に活用した根拠資料

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2024年4月

シラバス、授業の配布資料、動画教材、3Dデジタル教材、課題、試験問題、授業評価、学生からのメール